

東京都がん対策推進協議会

第9回

就労支援ワーキンググループ

会議録

令和5年3月22日

東京都福祉保健局

(午後 1時1分 開会)

○中村統括課長代理

お待たせいたしました。時間になりましたので、まだ見えていない方がいらっしゃいますけれども、始めさせていただきたいと思います。

ただいまから、「東京都がん対策推進協議会の第9回就労支援ワーキンググループ」を開催いたします。

私は、がん対策担当の統括課長代理をしております中村でございます。よろしくお願いいたします。

本日は、委員の皆様方にはお忙しい中、ご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

本日はウェブということで、機器の不具合等により映像が見られないですとか、音声聞こえない等ありましたら、議事の途中でも結構ですので、挙手ですとかお声がけいただければと思います。

あと、委員の皆様には2点お願いがございます。議事録作成のため、必ずご発言の際はご所属とお名前のほうをおっしゃっていただくようお願いいたします。

ご発言の際以外は、マイクのほうをミュートにさせていただきたいと思います。

以上の二点でございます。

なお、本日の会議ですけれども、後日資料及び議事録を公開させていただく予定です。あらかじめご了承のほどお願いいたします。

それでは、開会に当たりまして、医療政策担当部長の鈴木より、一言ご挨拶申し上げます。

○鈴木医療政策担当部長 皆様こんにちは。東京都福祉保健局医療政策担当部長の鈴木と申します。よろしくお願いいたします。

委員の皆様には、ご多用の中、本ワーキンググループにご参加いただきまして、誠にありがとうございます。ワーキンググループにおきましては、ライフステージに応じたがん対策の一環といたしまして、がん患者の治療と仕事の両立支援の充実に向けたご意見をいただいているところでございます。本日は、都における令和4年度の治療と仕事の両立支援に関する取組についてのご報告及び令和5年度に予定しております取組についてのご紹介、また同じく来年度予定しております東京都がん対策推進計画の改定作業についてのご説明をさせていただければと存じます。

今回より、新たにご就任された委員もいらっしゃるということを聞いてございます。どうぞよろしくお願いいたします。本ワーキンググループをより活発な議論の場にしていただきたく、ご意見頂戴できればと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

本日は、全員の委員の皆様、忌憚のご意見をいただきたいと存じますので、どうぞよろしくお願いいたします。

以上です。

○中村統括課長代理 鈴木部長、ありがとうございます。

それでは、本日の会議資料でございますけれども、委員の皆様には事前にデータにて送付をさせていただいております。次第記載のとおり、資料1から5までと参考資料1から4まで、一部資料に関してはURLという形になっております。基本的には、本日報告事項が中心になってございますので、よろしく願いいたします。

次に、今鈴木部長の挨拶の中にもありましたけれども、委員の方がかなり代わられているということで、皆様のご紹介でございます。資料の2-2 東京都がん対策推進協議会就労支援ワーキンググループ委員名簿をご覧ください。

今回より、新たな任期になってございまして、委員の皆様をご紹介させていただきます。一通り皆様、お名前をお呼びしますので、一言ご挨拶いただければと思います。

まず名簿の上段から行きます。東京都中小企業団体中央会 労働課長の青木委員でございます。

○青木委員 青木です。よろしく願いいたします。

○中村統括課長代理 続きまして、国家公務員共済組合連合会虎の門病院 院長補佐、血液内科部長であります内田委員でございます。

○内田委員 内田です。今回初めて参加させていただきます。どうぞよろしく願いします。

○中村統括課長代理 続きまして、順天堂大学 衛生学 公衆衛生学講座 非常勤講師の遠藤委員ですけれども、本日は欠席というご連絡いただいております。

続きまして、アフラック生命保険株式会社 人材戦略第二部 健康推進室長の大賀委員でございます。

○大賀委員 アフラックの大賀でございます。前任の佐柳の後ということで参りました。どうぞよろしく願いいたします。

○中村統括課長代理 よろしく願いいたします。

続きまして、東京商工会議所 産業政策第二部担当課長、清田委員でございます。

○清田委員 東京商工会議所の清田でございます。どうぞよろしく願いいたします。

○中村統括課長代理 続きまして、独立行政法人労働健康安全機構東京労災病院 治療就労両立支援センターのメディカルソーシャルワーカーの新明委員でございます。まだこちらに入られていないようなので、後ほどいらっしゃいましたらご紹介したいと思っております。

続きまして、東京都社会保険労務士会がん患者・障がい者等就労支援特別委員会委員長の染谷委員でございます。

○染谷委員 東京都社会保険労務士会の染谷でございます。本日はよろしく願いいたします。

○中村統括課長代理 続きまして、聖路加国際病院 乳腺外科副医長であります竹井委員でございます。

○竹井委員 聖路加国際病院 乳腺外科の竹井と申します。前任の山内に続きまして、担

当させていただくことになりました。よろしくお願いいたします。

○中村統括課長代理 よろしくよろしくお願いいたします。

続きまして、同じく聖路加国際病院アシスタントナースマネージャーであります橋本委員でございます。

○橋本委員 聖路加病院の橋本と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

○中村統括課長代理 続きまして、声を聴き合う患者たち&ネットワーク「VOL-Net」代表の伊藤委員でございますが、伊藤委員もまだこちらに来られていないようなので後ほどいらっしゃいましたらご紹介いたします。

続きまして、公益社団法人東京都医師会理事であります鳥居委員でございます。

○鳥居委員 よろしくよろしくお願いいたします。東京都医師会の疾病対策担当理事をしております鳥居でございます。よろしくお願いいたします。

○中村統括課長代理 委員の紹介は以上でございます。皆様、どうぞよろしくお願いいたします。

続きまして、ワーキンググループ長を選任いたしたいと思っております。資料1になりますけれども、東京都がん対策推進協議会設置要綱をご覧ください。こちらの2ページ目の第10条の2の規定でございます。ワーキンググループ長、ここに関しましては座長の指名により選任するとなっております。協議会の座長であります垣添先生の方から就労支援ワーキングにつきましては、内田委員にお願いしたいということでご指名がありましたので、内田委員にお願いしたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

内田先生、一言、グループ長としてご挨拶いただけますでしょうか。

○内田ワーキンググループ長 このたびワーキンググループを拝命しました内田です。今回初めての参加ですし、様々要領得ないところがあるかと思っておりますけれども、よろしくお願いいたします。非常に重要な領域だと思っておりますので、どうぞ皆様お力添えをと思っております。よろしくお願いいたします。

○中村統括課長代理 ありがとうございます。

それでは、これ以降の進行につきましては、内田ワーキンググループ長にお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。

○内田ワーキンググループ長 では、ここから先は私が進行を務めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

まず議事の(1)、「令和5年度における東京都がん対策推進計画の改定作業」についてです。こちらは事務局から、議事(1)についての資料のご説明をよろしくお願いいたします。

○中村統括課長代理 ありがとうございます。

それでは議事1につきまして、資料3をご覧ください。一応画面共有もさせていただいております。少し小さいかもしれませんが、ご容赦ください。

令和5年度に予定しております「東京都がん対策推進計画の改定作業」についてご説

明いたします。

まず、「東京都がん対策推進計画」ですけれども、こちらの計画はがん対策基本法に基づきまして、都道府県が策定する、がん対策に関する計画になってございます。

現在の東京都がん対策推進計画は第二次改定版に当たります。計画期間は、平成30年度から令和5年度までの6年間となっております。そのため、令和6年度より新たな計画、第三次改定版を策定する必要があります。令和5年度は東京都がん対策推進協議会で改定作業の議論を行っていく予定でございます。

各ワーキングで所管している分野、就労支援ワーキングに加えまして、AYAのワーキングと緩和ケアのワーキングがありますが、これらの分野と新たに予防のワーキングも設置する予定ですが、このワーキングにつきましては、就労支援に関して、委員の皆様には現状や課題や今後の方向性、取組などについて具体的な議論、意見をいただきたいと思っております。

次にワーキングでの改定作業のスケジュールが、下のほうになりますけれども、来年度大体7月から9月にかけて2回程度開催することを予定しております。

議論する内容のイメージとしては、参考資料2をつけさせていただいておりますけれども、こちら国のがん対策基本計画の案の就労支援に関する部分を抜粋したものでございます。基本的には国が今考えていることと都も含めて都道府県が考えていることはそんなに大きく差はないかと思っておりますけれども、こちらが例示としてこんな形で国のほうでやっておりますので、東京都も例を参考にしながら、東京都として何をやっていくべきかというのを議論していきたいと考えてございます。ですので、例年より部会の回数が多少増える可能性がございますので、ぜひ、皆様のお力添えのほうをお願いしたいと思います。資料の3の説明としては以上となります。

○内田ワーキンググループ長 ありがとうございます。

資料3についてご説明いただきましたけれども、何か委員の方々に事務局のほうにご質問等ございましたらお願いします。これは挙手いただくか顔を出していただいてしゃべっていただくほうが早いですかね。

取りあえず令和5年度は、改定作業を進めていくということですね。その間ワーキングのミーティングも若干多いかもしれないという話でしたけれども、よろしいでしょうか。

では、次に行ってよろしいですかね。続いて、議事の2ですね。「令和4年度における都の就労支援に関する取組について」ということで、事務局からこちら資料のご説明よろしくお願いたします。

○中村統括課長代理 ありがとうございます。

それでは、議事の二つ目として、資料4をご覧ください。

こちらは、昨年度までのワーキング等でご意見を踏まえまして、令和4年度東京都のほうで実施したがん患者の治療と仕事の両立支援事業の取組内容をまとめさせていただ

いたものになってございます。これまでやってきたことを少し皆様にご説明させていただきたいと思っております。

まず一つ目です。「がんになった従業員の治療と仕事の両立支援サポートブック」を作成いたしました。こちらですけれども、平成27年3月に作成しました「がんになった従業員の治療と仕事の両立支援ハンドブック」というものがございまして、この内容をアップデート、更新したものになってございます。

内容の検討に当たりましては、本ワーキングの中からも検討委員として何名かの方に携わっていただきました。

サポートブックの主な対象ですけれども、企業の経営者の方ですとか人事労務担当者の方々を対象に考えてございまして、がん患者の就労に関する適切な知識ですとか、対応方法を啓発することで、従業員の方ががんになっても働き続けられる職場環境づくりをサポートすることを目的としているものでございます。

配布方法としましては、東京都がんポータルサイトにてデジタルブック形式で公開するほか、希望する企業様には、紙媒体での配布をすることを考えてございます。

また、周知に当たりましては、東京都商工会議所様を通じて、宣伝チラシを配布させていただきました。また、都内拠点病院等には、メール等により周知してございます。

サポートブックの主な内容につきましては、参考資料3という形でURLをつけておりますけれども、基礎編・実践編・参考資料編の3部構成となっております。基礎編では、がんに関する最新データ等を示しながら、両立支援の必要性への理解ですとか、がんに対する基礎知識を深めてもらえるような内容になってございます。

実践編としましては、従業員の方ががんになった場合に、円滑に支援を行うことができるようにあらかじめ準備しておくべきことから、実際に従業員の方ががんになった申告ですとか相談があった際の対応方法について記載してございます。

具体的には、治療と仕事との両立支援を進める上での関係者とその役割ですとか、柔軟な働き方の制度やその効果、勤務情報提供書及び主治医意見書等を使用した企業・医療機関連携の方法など、そういったところを記載してございます。

また、参考資料編ということで、両立支援に役立つ情報が得られるサイトですとか資料、相談窓口、患者本人や企業が利用可能な支援制度について紹介してございます。こちら、こういったデジタルブックという形でポータルサイト等で普及していくほか、紙でも作成しておりまして、まだ東京都のほうにたくさんございますので、もしご希望の方がいらっしゃいましたら、ぜひご連絡いただければ提供させていただきますので、よろしく願いいたします。

次に、二点目の企業向け研修用映像教材・スライド教材・自己研修用教材の作成でございまして。

こちら、平成27年3月にも先ほどのハンドブックと併せてこういった教材を作ったのですけれども、今回も併せてこちらの教材も更新したものでございまして、先ほど

紹介したサポートブックの内容を基に作成した形になってございます。こちら、がんに関する正しい知識や部下や同僚ががんになった場合の支援方法について、身につけてもらうことを目的としてございます。企業内で研修を行う際に使っていただくようなことをイメージしてございます。

いずれも、年度末までの完成に向けて、現在、作業中でして、完成後は東京都がんポータルサイト上で公開する予定でございます。次にご説明する企業向けセミナーでも、この内容を紹介することを考えてございます。

ということで、三点目の「がんになった従業員の治療と仕事の両立セミナー（企業向け）」を開催する予定でございます。これは、明後日の3月24日を開催ということで今進めているところでございます。

参考資料4になりますけれども、セミナーの周知チラシを添付してございます。内容が固まるのがぎりぎりまでかかってしましまして、なかなか皆さんに周知できなかったのですけれども、今、取りあえず23日まで参加を募集しているという状況です。

主な対象ですけれども、中小規模の都内企業の経営者の方ですとか、人事労務担当者及び産業医の方、産業保健スタッフの皆様を想定してございます。このほか、一般で来ていただくのも全く差し支えはございません。

当日の開催形式はオンラインでの開催ということで、この内容につきましても、終了後、がんポータルサイト上でアーカイブ配信を考えております。

次にセミナーの内容ですけれども、まず第一部としまして、がん患者への就労支援の意義ですとか、柔軟な働き方の活用方法について、治療医の立場であり、両立支援に精通している有識者の方というところで、東京労災病院の神山先生を予定してございます。

次に第二部として、先ほど一つ目で説明しました「がんになった従業員のサポートブック」ですね。こちらを教材として、その内容ですとか企業内での活躍方法のほうをご紹介するようなメニューになってございまして、こちらは本ワーキンググループの染谷委員のほうに講師のほうをお願いしてございます。

続いて第三部ということで、こちらはがん経験者の方による治療と仕事の両立支援に関する体験談ということで、こちらも本ワーキンググループの伊藤委員のほうにお話をお願いすることになってございます。

そして最後、四つ目としまして、この両立支援の実践に関するパネルディスカッションというものを考えてございます。こちらは第一部から第三部の登壇者の方に加えまして、両立支援に取り組む企業の方として、今回はライフネット生命保険株式会社の篠原さんという方をお願いしてございまして、後は拠点病院の医師ということで、内田ワーキンググループ長にもご参加のほうをお願いしているところでございます。この方たちで、ディスカッションと申しますか、意見交換を行う予定です。

セミナー参加者には、本セミナーを通して、企業における両立支援の取組内容や取組後の姿についてイメージを深めて、実際に自社で実践に向けた一歩を踏み出すきっかけ

にさせていただきたいと考えてございます。

セミナーについては、以上でございます。

続きまして、四つ目として、「がんの知識に関する普及啓発動画の作成」でございます。

こちらは、働く世代・子育て世代を中心とした一般都民向けの動画で、東京都がんポータルサイト上で公開いたします。当初、就労メインで考えていたんですけれども、一般都民向けにがんの基礎的な話もあったほうがいだろうということで、動画の内容は幾つか就労以外も入っております。

動画の内容ですけれども、一つ目ががんという病気について、二つ目ががんの予防・検診について、三つ目としてがん治療と仕事の両立について、四つ目はがん患者の生殖機能温存治療についてとなっております。各動画1本当たり約5分程度の計4本立てになってございます。若年世代の都民に方に対して、がんという病気自体ですとか、治療と仕事の両立に関する知識等を身につけてもらうということを目的としております。

ここで、5分程度になりますけれども、がん治療と仕事の両立についてちょっと流させていただきます

(動画視聴)

○中村統括課長代理 お時間いただきましてありがとうございます。画面共有の影響で、若干画面の動きが滑らかでなかったとは思いますが、実際はアニメーションみたいな滑らかな動きでございます。また、手話通訳の挿入についても準備中でございます。

内容に関しましては、いろんな方に監修を受けながら作らせていただきました。こういった点もあったんじゃないかとか、そういったご意見等があればお聞かせいただければと思います。

また、公開した後、もし可能であればリンク等をホームページ等に貼っていただいて、普及啓発等にご協力いただければと思いますので、よろしく願いいたします、

それでは、次の点でございます。また動画になるのですけれども、5番目で『「たかみなのTOKYO知りたいコト!」の制作』ということで、タレントの高橋みなみさんがナビゲーターとなりまして、若年層に向けまして、「自分ゴト」として都の施策を紹介する「東京動画」という動画サイトがあるんですけれども、こちら、がん対策に限らず東京都全体の施策を、若年層をターゲットとした都民の方に伝えるもので、作りたい人を都庁内で手を挙げてくださいという形で、がん対策をテーマに挙げてみたら「ぜひどうぞ」という形になりまして、作ったものでございます。

こちら、若年層を対象にしたということで、今回AYA世代の方を念頭において「がんでも諦めない あなたを支えてくれる場所」と題しまして、がん患者の方への就労支援を中心に、がん相談支援センターについて取り上げたものでございます。

具体的な内容としては、がん相談支援センターのご紹介ですとか、高橋みなみさんによるがん相談支援員の方やがん経験者の方にインタビューをしている形の番組となって

ございまして、聖路加国際病院さん、特に本ワーキンググループの委員橋本委員にもご協力いただいて作ったものでございます。

動画の紹介ばかりで申し訳ないんですけども、こちらも5分程度になりますけれども、流させていただきたいと思います。

(動画視聴)

○中村統括課長代理 動画は以上でございます。ちょっと宣伝みたいで申し訳ないです。こちらのほうもぜひ、何か使っていただければ幸いです。若干、東京都のサイトということで、再生回数も伸びていないようで、ぜひ使っていただければと思います。少し逸れましたけれども、資料4の説明としては以上となります。ワーキング長、お願いいたします。

○内田ワーキンググループ長 ありがとうございます。資料4についてのご説明でしたけれども、何か事務局のほうにご質問等ございましたら、委員の先生方よろしくお願います。

ご出演されていらっしゃった橋本委員、何かもしコメントがございましたら、お願いします。

○橋本委員 聖路加病院の橋本です。内田先生、ありがとうございます。

このような機会をいただきありがとうございます。結構、東京都の拠点病院の相談支援センターの仲間たちのネットワークが結構いい形になっているなというふうに思っているのと、できるだけそこで皆さんとつながりながらサポートできたらいいなというふうに思っているのと、実はがん拠点病院以外の医療機関で治療している方々が4割でしたっけ、4割近い方は拠点病院じゃないところで治療もされているということをも最近伺いましたので、その都内のいろんなところで治療と戦っている方々のサポートも相談支援センターでうまく吸収しながらつないでいければいいなというふうに思っています。

感想ですみません。ありがとうございます。

○内田ワーキンググループ長 ありがとうございます。

動画は僕も拝見しましたが、インパクトが大きいし分かりやすいですね。最初のアニメーションのやつもすごく分かりやすいですし、あれをいかに多くの人に周知できるかが今後はすごく重要になってくるのかなというふうに思いましたけれども、そのためのセミナーが3番目でご紹介いただいた今週の金曜日のセミナーということですね。当院だったら、恐らくがん相談支援センターには、間違いなく情報提供するように言おうと思うんですけども、事務局のほうでさらに広げるような何か戦略的なものというのは何かございますか。

これ、東京都外の人でも当然、見ていいわけですね。

○中村統括課長代理 結構でございます。

一応今のところ、動画に関してはインスタグラムですとか、フェイスブックですとか、

そういった媒体を東京都も持っておりますので、流して周知していくというところがございませぬけれども、なかなかそれでも限界があるなというふうには感じておまして、それ以外だと、今ちょっとぱっと思いつくところはないんですけれども。

○内田ワーキンググループ長 最初の動画は、がんになった人が見るというよりは、がんになる前の、仕事を始めたばかりの若い夫婦の話でしたよね。ああいうのを、がんになってからしかなかなか意識が向かないところですけど、がんになる前の人にも見てもらうために、委員の先生で何かいいアイデアを出していただいたら、事務局のほうですくっていただけるかもしれませんが、いろんな方面の。

どうぞ。鳥居委員、よろしくお願ひします。

○鳥居委員 東京都医師会の鳥居ですけれども。

やはりかかりつけ医の果たす役割もこれから大きくなると思いますので、退院後の就労ということになると思います。また、病院に通いながらということにもなるので、東京都医師会のほうの地区医師会に通達する、あるいは東京都医師会のホームページからリンクをとばせるような感じで見てもらう数を増やせるというのは、一つの方法じゃないかと思っております。限られたことではありますけれども、ご協力できればと思っております。

以上であります。

○内田ワーキンググループ長 ありがとうございます。大変な貴重なご意見、ありがとうございました。

○竹井委員 いいですか。聖路加病院の竹井です。

○内田ワーキンググループ長 どうぞ。よろしくお願ひします。

○竹井委員 よろしくお願ひします。

質問ですが、企業向けのセミナーということで、企業に直接アクセスする機会というのはお持ちなんですか。例えば、私も一般企業の産業医としても働いているんですけれども、人事がこの情報を知っているのかどうかというのもすごく興味があって、もし知らなかったらやっぱりこういうのを人事の人にも見てほしいなという率直な思いがあったんですけれども。企業の人事が集まるような機会があれば、恐らく先ほどのがんになる前の若い夫婦の動画というのも、「新入社員の研修のときとかに見ていただくということに使えますよ」という案内をできるのかなと思ひました。

○内田ワーキンググループ長 事務局いかがでしょう。

○中村統括課長代理 事務局でございます。先生、ありがとうございます。

実は、東京都として考えても、企業との直接アクセスの場所は正直のところないという状況でございます。今回、先ほど言ったサポートブックですとか、セミナーのチラシですね、これらの広報を東京商工会議所さんにお願ひしたというのが一つです。それしか今のところはなかったという状況でございます。

あとは、先ほど計画改定の話をちょっとさせていただきましたが、今回企業向けにも調査等をかけているんですけれども、調査への協力依頼を送るにも、住所等のリスト等を持っておらず、リストをもらうとすると総務省に連絡しないといけないという状況になっていますので、それに関しても東京商工会議所さんを通じて周知させていただいたという状況でございます。東京都産業労働局でも人事担当者の会議とかを持っているところは特になく状況ですね。

ということで、なかなか直接訴える手段というのをちょっと今持ち合わせていないというのが、正直なところでございます。

以上でございます。

○鈴木医療政策担当部長 すみません。東京都鈴木でございます。

ご意見ありがとうございます。

今思い浮かぶのが、医療保険者さん、例えば協会健保さんですとか、健保連盟の方とか、そういったところとつながりがありますので、ご相談にしてみてもいいかななんて思っています。いろんな広がり職員とも相談しながら試していきたいと思えます。また、委員の皆様にもご協力いただくようなことがあるかもしれません。その節は、ご相談に乗っていただくと助かります。よろしくお願ひします。

○内田ワーキンググループ長 ありがとうございます。

○染谷委員 すみません。よろしいでしょうか。

○内田ワーキンググループ長 どうぞ。

○染谷委員 東京都社会保険労務士会の染谷です。

私どものほうで、今回のこの企業向けセミナーや、サポートブックに関しましては、私ども会員向けに発信をさせていただいて、会員の顧問先企業等に周知をお願いできればと考えております。

後もう一点ご提案なのですが、厚生労働省で、「がん対策推進企業アクション」という活動が行われていて、その登録企業へは、メーリングリスト情報提供等を行っているようです。がん対策やこのがん治療と仕事の両立に関してもかなり積極的に取り組んでいる企業が登録されていらっしゃるの、とても効果的ではないかと思えます。東京都と厚生労働省との連携はされているのでしょうか。

○内田ワーキンググループ長 いかがでしょうか。事務局のほうから。

○事務局（生方） 事務局でございます。染谷委員、ありがとうございます。

今のところ、その企業アクション向けに都がやっている取組の内容を周知くださいというお願いをしている状況ではなくて、今いただいた意見をもとに、これから働きかけをしていくよう検討をしたいと思えます。貴重なご意見ありがとうございます。

○内田ワーキンググループ長 その他、ございませんでしょうか。

鳥居委員。どうぞ。

○鳥居委員 東京都医師会の鳥居です。

以前に東京都商工会議所と東京都と東京都医師会で、風疹のワクチンを広げようという事で、健康経営の一環としていろいろ取組をしたことがあります。そういったほうもいろいろ使えるんじゃないかと思っております。

以上であります。

○内田ワーキンググループ長 ありがとうございます。

様々、非常にいろんなご意見をたくさんいただきまして、後は福祉保健局のほうでうまく拾っていただけたらと思います。

ほか、よろしいでしょうか。

では、続きまして、議事の3にいきたいと思います。「令和5年度における都の就労支援に関する取組」ということで、こちらは資料の5ですかね。またご説明、事務局のほうからよろしくお願いいたします。

○中村統括課長代理 ありがとうございます。

それでは、資料5をご覧ください。画面も共有いたします。

令和5年度に予定しておりますがん患者の治療と仕事の両立支援事業の三つの取組内容について、ご説明いたします。

まず一点目、「がんになった従業員の治療と仕事の両立支援セミナー（企業向け）」というところで今年度もやりますけれども、来年度も引き続き開催を考えてございまして、来年度は開催回数2回を予定してございます。

具体的な内容はこれから少し詰めなければいけないところではあるんですけども、今考えているのが、令和4年度のセミナー、今回参加していただく企業の中で、このセミナーを受けて、もしくは今年度作成したサポートブック等を活用して、両立支援の取組取組みを進めたというようなところがあれば、実際に取り組んでいただいている内容をご紹介するような形を考えてございます。

また、都が作成した企業向けの研修用教材などの活用事例もあれば併せて紹介してもらうようなことを考えてございます。

残る二つの2番目と3番目の取組なんですけれども、こちらのほうはいずれも医療機関と患者の職場との仲介・調整役を担う、両立支援コーディネーターをテーマにしまして、この方々の活用を通じて、医療機関と患者の職場が効果的な情報共有を行い、企業から患者へのきめ細やかな配慮が実現するようなことを図っていくような取組を考えてございます。

一つ目としまして、「両立支援コーディネーターの意見交換会・事例検討会」の開催というものを考えてございます。主な対象としましては、がん診療連携拠点病院の両立支援コーディネーターの方々でございます。都内の拠点病院ですと、ほとんどのがん相談支援センターの中で1名以上の方がいらっしゃるというような状況かと思ってございます。

しかしながら、このコーディネーターの方々の日頃どのように活動されているのか、

東京都としてはなかなか把握できていない状況でございます。コーディネーターの方々が、医師と会社と患者さんの間に入ってどうやって動くのかがよく分からない、既にそこで関係性がある程度出来上がってしまっているのではなかなか入り込めないというような話もちょっと聞いたりしますので、まずはアンケートのような形で、日々どのような活動をされているのか状況をお聞きしたいなというふうに考えてございます。

そのアンケートの結果を踏まえて、コーディネーター業務の好事例の共有ですとか、事例検討が行えるような機会を設けたいと考えてございます。

これは東京都主催でやるか、またはがん診療連携拠点病院、東京都内30数か所ございます、協力病院も含めれば50か所以上ありますけれども、こちらの集まりである東京都がん診療連携協議会というのがございまして、こちらでも相談支援をやっている方々の集まり等もございまして、そういった場を活用してやるかどうかは今こちらで検討しておりますが、そういったどこでやるかは別として、そういった取組をやりたいなというふうに考えてございます。

続きまして、「両立支援コーディネーター紹介カード（仮称）の作成」というのを考えてございます。今後、すごいものを作ろうということではなくて、医療機関の両立支援コーディネーターの方が患者さんと関係性を持ち支援していく中で、患者さんの了解を得た上で、患者の職場へカードを送付することによって、医療機関と企業の情報共有を円滑化することを目的に取り組みたいというものです。そのカードの中身としては、医療機関のコーディネーターの連絡先ですとか、「企業に対してこんなことが支援できます」「拠点病院のコーディネーターを活用してください」ということを想定してございます。なかなか患者さん本人から会社側に言いづらいみたいなこともちょっと聞いたりしていますので、医療機関と職場をつなぐようなカードをお渡しいただくということをちょっと考えてございます。

カードの内容につきましては、先ほどお話しした東京都がん診療連携協議会の場などを活用させていただいて、各拠点病院のコーディネーターの方からの意見をもとに作成していきたいと考えてございます。

令和5年度につきましては、これら三つの取組から企業における治療と仕事の両立支援体制の強化を図っていききたいと考えてございます。

資料4の説明としましては、以上でございます。ワーキング長お願いします。

○内田ワーキンググループ長 ご紹介、ご説明ありがとうございました。

令和5年度の治療と仕事との両立支援事業の取組について、資料の5についてご説明いただきましたけれども、何かご質問等ございませんでしょうか。

○大賀委員 アフラックの大賀でございます。

○内田ワーキンググループ長 お願いします。

○大賀委員 ご説明ありがとうございました。

最後のコーディネーターの紹介カードというのは、現物としてどういったものを想定

されていらっしゃるのかなというところを教えてくださいましたかっただけですけども、物が届くという形でしょうか。

○内田ワーキンググループ長 いかがでしょう。

○事務局（生方） 大賀委員、ありがとうございます。事務局でございます。

そうですね。今のところ、ポストカードサイズの紙媒体でお送りしたりとか、後はもし可能であれば、電子メールに添付する形で電子のカードなんかも考えております。

○大賀委員 ありがとうございます。

それは、個人情報、患者さんのお名前などが載るというよりは、チラシに近いというようなイメージでございますか。その患者さん本人の許可を得てというところが、その方とマイネームで結びつくような書類になっているのか、それともただ全体的なお知らせという形のものなのかというところが少し気になりました。

○中村統括課長代理 カード自体には恐らくそういった個人情報は載せない形にはなるかと思うんですけども、やはり個別の患者さんの支援にあたり医療機関と職場の連携を促進するために送付するものなので、支援対象となる患者さんはある程度特定されるような形にはなるというふうには考えております。

○大賀委員 ありがとうございます。

なかなかセンシティブなところなので、難しいかなというところがありますが、今後ともいろいろご検討できればと思います。

ありがとうございます。

○内田ワーキンググループ長 目的としては、個人データの利用ではなく、要するに両立支援コーディネーターさんがやっていることをもっと企業のほうに知ってもらおうという、利用してくださいねというそういう理解でよろしいでしょうか。

○事務局（生方） 事務局でございます。

先生のおっしゃるとおりの目的でございます。まず、企業さん側に両立支援コーディネーターの方がどんな仕事をされているのかとか、どんなことができるんだということについて知ってもらおうというためのツールにしたいと思っております。

○内田ワーキンググループ長 ありがとうございます。

両立支援コーディネーター、うちの病院には10人ちょっといるんですけど、コーディネーターの活動はニーズはあるんだけどそれを知らないというか、結局普通の診断書でもかたがついてしまっているという話を聞いたりしておりますので、こういった取組でもしそこを突破できるのであればいいなというふうに思いましたけれども。

そのほかよろしいでしょうか。

この議事3は以上ということではよろしいですかね。

では、続いては4のその他ということになりますが、本日の議事1、2、3とありましたけれども、全体を通じてでも結構ですし、各パートで言いそびれたこととかでも結構ですので、この際ですので、なかなかこのメンバーであってお話しする機会というの

もそう多くはないと思いますので、何かございましたらどうぞおっしゃっていただけますでしょうか。

竹井先生、どうぞ。

○竹井委員 聖路加病院の竹井です。

次回の開催時期の目安と、それまでに委員として、調べたりやっておいたほうがいいことという、私たちへの何か課題みたいなのはありますでしょうか。

○中村統括課長代理 次回は7月頃ですかね。課題というと難しいところではあるんですけども、次回は恐らく事業の内容という話よりは、計画改定に向けて、東京都のほうで骨子等を作ってご意見をいただくような形になるのかなと思ってございます。なので、可能であれば事前に資料のほうはお出ししたいと思いますので、それをご覧になっていただければいいのかなということと、あとは今回参考資料2で国の基本計画の就労支援の部分をちょっとつけさせていただいたと思います。その内容を少しご覧になっていただけると、国が考えている課題みたいなのが少し出てきておりますので、東京都でもそんなに大きな差はないのかなとは思っておりますけれども、その辺を少しご覧になっていただけると、こんな内容のことをやっていくのかなということはある程度ご理解いただけるのかなと思います。

○竹井委員 ありがとうございます。承知いたしました。

あとは、先ほどの動画は、いつから見られるような形になりそうですか。

○事務局（生方） がんになる前の夫婦が登場する普及啓発動画は、ただいま公開に向けて準備中でありまして、恐らく来週中ぐらいにはアップされると思います。アップ作業ができましたら、皆様にご連絡いたしますので、少々お時間いただければと思います。よろしく願いいたします。

○内田ワーキンググループ長 そのほか、何かございませんでしょうか。

動画とあるいはこの実際に作られたサポートブックなどの宣伝として、僕はテレビCMとかどうなのだろうと思ったのですが、患者さんに対しても一番効果が高いとか、ワクチンにして何にしてもテレビから得た情報が一番多いように思うのですが、都の予算とかというのはいろいろあるでしょうけれども、その辺りってどうでしょうかね。

○中村統括課長代理 なかなか難しいところでございます。

○内田ワーキンググループ長 やっぱり高いですか。

○中村統括課長代理 あまり、CMを作ったことがないのですけれども、まずそれなりにするのかなという気はしておりますが。機会があれば調べたいと思います。○竹井委員 フェイスブックはあるんですけど。

○内田ワーキンググループ長 フェイスブックありましたよね。

○事務局（生方） 事務局です。

普及啓発動画については、フェイスブックの広告アカウントを通じて広告を行う予定でございます。

○竹井委員 ありがとうございます。

やっぱり今見ている特に若い世代とかは、TikTok とか Youtube とかのほうがヒットしやすいのかなとも思いましたけれども、またそれを流すとなると大変かと思っております。

○内田ワーキンググループ長 確かに若い世代が見るべき内容は、フェイスブックとか TikTok とかいいのかもしれないですね。

他はよろしいでしょうかね。

では、時間になったということで、今回の議論はこれで終了とさせていただきます。一旦事務局にお戻しします。よろしく願いいたします。

○中村統括課長代理 ありがとうございます。

本日は、活発なご意見を頂戴しまして、ありがとうございます。こちらのほうも参考にして考えていきたいと思っております。

来年度は先ほども少し触れましたけれども、東京都がん対策推進計画の改定作業がございまして、皆様には、お忙しい中、多大なご協力をいただくことになるかと思っております。また今後、現在の取組ですとか、今後の取組に関して、必要に応じて委員の皆様、または個別にご意見等を頂戴する機会があるかもしれません。その際は、どうぞよろしくお願いいたします。

事務局からは、以上でございます。

○内田ワーキンググループ長 では、これにて「東京都がん対策推進協議会第9回の就労支援ワーキンググループ」を閉会させていただきます。お忙しい中お集まりいただきまして、ありがとうございました。

（午後 2時7分 閉会）